

洗足学園音楽大学

フレッシュマン・ウインド・アンサンブル演奏会

Freshman
Wind
Ensemble

2021 12/3 FRI. 18:00 start
(17:30 open)

洗足学園 前田ホール

～ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い ～

- ・マスクの着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

Greeting

本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

フレッシュマン・ウインド・アンサンブルは、一年生同士のアンサンブルをすることにより、連帯感や向上心を高め合いながら、アンサンブル能力の育成、合奏における音楽理解を深めることを目標に努力してまいりました。

本日のプログラムは、客演指揮者に増井信貴先生をお迎えして、生誕100年を記念としたアルフレッド・リードの作品をはじめとし、キャンプハウス、マッキー、ホルスト、スパークと吹奏楽作品の新旧の名作ばかりをとりあげました。

近年、社会を席捲した新型コロナウイルスの影響は、私たちの暮らしや日常の風景を一変してしまいましたが、そのような中、私たちの演奏が、そして音楽の力が、少しでもみなさまの心の潤いと明日への活力となることができましたら幸いです。

最後に、まだまだ予断を許さない状態が続いておりますが、この演奏の機会をいただき、ご尽力くださった関係者のみなさまに、心より御礼申し上げます。

フレッシュマン・ウインド・アンサンブル
企画運営責任者
瀬尾 宗利

Program

M.キャンプハウス／シンフォニック・ファンファーレ

Mark Camphouse (b.1954) // Symphonic Fanfare

J.マッキー／オーロラが目覚め

John Mackey (b.1973) // Aurora Awakes

G.ホルスト／吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 Op.28 No,1

Gustav Holst (1874-1934) // First Suite in E flat for Military Band, Op.28 No,1

第1曲 シャコンヌ Chaconne

第2曲 インターメッツォ Intermezzo

第3曲 マーチ March

～ 休憩 ～

A.リード／春の猟犬

Alfred Reed (1921-2005) // The Hounds of Spring

A.リード／アーデンの森のロザリンド

Alfred Reed // Rosalind in The Forest of Arden

P.スパーク／宇宙の音楽

Philip Sparke (b.1951) // Music of the Spheres

t=0 t=0

ビックバン The Big Bang

孤独な惑星 The Lonely Planet

小惑星帯と流星群 Asteroids & Shooting Stars

宇宙の音楽 Music of the Spheres

ハルモニア Harmonia

未知 The Unknown

Programme Notes

M.キャンプハウス／シンフォニック・ファンファーレ

マーク・キャンプハウス (b.1954) はアメリカのイリノイ州で生まれる。吹奏楽曲を主に交響楽や金管の室内楽と幅広いジャンルの作曲をしており、アメリカ国内に関わらず世界中で彼の作品が演奏されている。また、自身もトランペット奏者としての経験があったり、指揮者や学校、団体の講師等を務め、その活動は多岐に渡る。

この曲は彼が高校、大学生時代にトランペット奏者として所属していた市民吹奏楽団ウィートン・ミュージカル・バンドの創立75周年記念作として、2005年に委嘱依頼を受け作曲をした。同年7月、キャンプハウス本人を客演指揮として迎えて初演を果たした。コンサートのオープニングを飾るにふさわしい堂々としたトランペットのファンファーレに始まり、コラールにも聴こえる叙情的な中間部。そして、再び華やかなファンファーレでクライマックスを迎える。

トランペット 正木 航

J.マッキー／オーロラの日覚め

ジョン・マッキー (b.1973) はアメリカの作曲家。両親ともに音楽家であったが音楽教育は受けなかった。祖父から楽譜の読み方やコンピューターによる楽譜作成を教わるが、楽器演奏の教育は受けないまま作曲活動を続け、クリーブランド音楽大学へ進み更に研鑽を積んだ。卒業をしてからも数々の作品を書き上げ、日本では2006年頃からコンクールや演奏会で取り上げられるようになり、徐々に知られるようになった。

この曲は彼が2009年に作曲をし、アメリカ吹奏楽指導協会から優秀な吹奏楽曲の作曲者に与えられるオストウォルド賞を、全米吹奏楽協会主催のウィリアム・D・レヴェリ記念作曲コンテストでは優勝を果たした。曲の名前にある《オーロラ》とは、ローマ神話で美と光を連想させる夜明けの女神のことである。マッキーは他の作品よりインスピレーションを受ける事が多く、この曲ではU2 (アイルランドのロックバンド) の「約束の地」より冒頭に出てくるギターのリフをもとに取り入れたり、曲の最後にはグスターヴ・ホルストの「吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 Op.28 No.1」より『シャコンヌ』の最後の輝かしいE♭のコードを用いている。

クラリネット 曾山 舞美

Programme Notes

D.ホルスト／吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 Op.28 No.1

グスターヴ・ホルスト(1874-1934)はイングランドのグロスターシャー州チェルトナムで生まれた。10代の頃から作曲を始め、1893年にロンドンの王立音楽院に入学。チャールズ・ヒューバート・パリーやチャールズ・ヴィリアーズ・スタンフォードの下で作曲を学んだ。王立音楽院ではトロンボーンも学び、卒業後はオーケストラ奏者として生計を立てていた時代もある。ホルストは吹奏楽曲を複数残しているが、この「吹奏楽のための第1組曲」は初期の作品であり、後に作曲された第2組曲も含め吹奏楽の重要なレパートリーのひとつとなっている。1909年に作曲してから演奏はされていたが、楽譜の出版は1921年。1970年には自筆譜が公開され、1984年以降、複数の原典版が出版されている。この曲の構成は『シャコンヌ』『インターメッツォ』『マーチ』の全3楽章。各楽章の全ての主題は、第1楽章の冒頭の動機から派生したものとなっており、一種の循環形式で作られている。ホルストは、スコアの冒頭に《各楽章は同一のフレーズで構成されているため、この組曲は休みなしに通して演奏されることを望む》と記している。

トロンボーン 森田 堅人

A.リード／春の猟犬

アルフレッド・リード(1921-2005年)はアメリカの作曲家、指揮者。10歳からトランペットを、15歳から作曲を始める。高校卒業後、放送局の作・編曲兼副指揮者の仕事に就き、21歳の時に陸軍航空隊バンドに配属された。除隊後1946年にジュリアード音楽院へ入学、本格的に作曲を学ぶ。音楽院を卒業後は音楽番組の制作、出版社の責任者を経て、1966年にはマイアミ大学音楽学校教授となり教鞭を執る傍ら、数多くの作曲をし世界各国のバンドと共演をした。日本へは1981年に東京佼成ウインドオーケストラの招きを受けて初来日。1988年からは洗足学園音楽大学の大学客員教授を務め、日本国内の多くの楽団へも精力的に指導した。今年はリードの生誕100周年でもある。

この曲はカナダのジョン・L・フォースター・セカンダリースクール・コンサートバンドの委嘱作品である。1980年、ウィンザーにて作曲者本人の指揮により世界初演された。曲の内容はイギリスの詩人、アルジャーノン・C・スウィンバーン(1837-1909)が1865年に出版した詩劇「カリュドンのアタランタ」の中の合唱詩に感銘を受けたとされている。その合唱詩の冒頭が『春の猟犬たちが、冬終わりの景色を巡り、(When the hounds of spring are on winter's traces,)』と始まることから「春の猟犬(The Hounds of Spring)」という曲名となった。雪が溶け冬が終わり春の季節が訪れる。その『春』が持つ新鮮なエネルギーと暖かさをこの曲にのせて伝えている。

クラリネット 薄井 萌々子

Programme Notes

A. リード／アーデンの森のロザリンド

この曲はイギリスの劇作家ウィリアム・シェイクスピア（1564-1616）の戯曲「お気に召すまま(As you like it)」を題材に描かれた曲である。リードは他にも「ハムレットへの音楽」（1971年初演）や「オセロ」（1977年初演）など、シェイクスピアの戯曲を題材にした曲を計5曲作曲している。中でもこの曲はリードの晩年に作曲され、5曲の中でも最後の作品となっている。

曲名にもある「アーデンの森」はイギリス中部にあるとされており、その森の中でヒロインのロザリンドは一目惚れの相手、オーランドーに出会う。シェイクスピアは『森』になにか特別なものを感じていたようで、この曲にも森の神秘的な雰囲気や街とかけ離れた雰囲気が感じ取れる。クラリネットのカデンツ的なソロから始まり、徐々に広がっていく曲の展開はまるでロザリンドと共に森の中を歩いているようである。

クラリネット 松崎 稀菜

P. スパーク／宇宙の音楽

フィリップ・スパーク (b.1951) はイギリスのロンドンで生まれた。英国王立音楽大学にて作曲、トランペット、ピアノを学び、同大学でARCMディプロマを取得した。彼は作曲以外にも指揮者として、また審査員としての活動の場を広げ、その範囲はヨーロッパを始め世界各国に及んでいる。

この曲は金管バンドのために書かれ、のちに自身で吹奏楽版へ書き下ろし、2005年に日本にて吹奏楽版の世界初演が行われた。「天体の運行が人間の聴くことが出来ない音を発しており、惑星たちが宇宙全体でハーモニーを奏でている」という、ギリシャの哲学・数学者であるピタゴラスの「宇宙の音楽（天球の音楽）」という思想から作られた。曲は副題の付いた七部構成だが、途切れる事なく進む。冒頭は〈 $t = 0$ 〉。「 t 」とは宇宙の時間軸の単位、「0」は時間や重力などが存在する年数。「0（ゼロ）」という事は全てのものが存在しなかった宇宙を示し、その静けさをホルンのソロで表現し幕を開ける。その後〈ビックバン／The Big Bang〉では宇宙全体の爆発により全てが生まれていく様を描く。〈孤独な惑星／The Lonely Planet〉、これは地球を表している。他の惑星では起こりえなかった文明が始まり生命を誕生させた、その唯一を「孤独」として捉え表現されている。〈小惑星帯と流星群／Asteroids & Shooting Stars〉では、流星群など宇宙を飛びまわる物体たちの惑星を脅かす危険性や、反対に時には輝きを放つような良質な部分、どちらも表されている。そしてピタゴラスの理論〈宇宙の音楽（天球の音楽）／Music of the Spheres〉。この理論の中にある「6つの惑星と太陽が音を発し、和音を奏でている」に基づき6つの音を奏でる。〈ハルモニア／Harmonia〉はギリシャ語で「調和」。ここでは宇宙に存在する「全て」が調和されている様を壮大な世界観で提示している。最後の〈未知／The Unknown〉では、継続的に拡大していく宇宙は最終的に破壊されてしまうのか、それとも啓発に繋がっていくのか…疑問を残し、「知られていない(unknown)もの」として終わりを迎える。

サクソフォーン 新井 楓花

Conductor

増井 信貴

Nobutaka Masui



桐朋学園大学指揮科卒業、同研究科修了。岡部守弘、斎藤秀雄、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、F. フェラーラ、L. バーンスタインに師事。1978年タングルウッド音楽祭にスカラシップコンダクターとして参加。1982年パリ・オペラ座でオペラ上演に関わりつつ研鑽を積む。また1989年文化庁派遣在外研修員としてバイエルン国立歌劇場に留学し、ウォルフガング・サヴァリッシュ氏の助手として数多くのオペラ上演に参加した。

1989年群馬交響楽団の指揮者に就任。1991年ウィーン木管アンサンブルと共演し、その様子はウィーンフィル創立150周年記念ドキュメンタリー番組「ウィーンはいつまでもかわらない」にとりあげられ全世界で放送された。

1997年11月、ロストロポーヴィチ指揮新日本フィル定期演奏会で、ブリテン「戦争レクイエム」の小オーケストラの指揮を務めた。また、1998年冬季長野オリンピック開会式での「第九」演奏においては、合唱とオーケストラをまとめる指揮者のひとりとして演奏に携わった。

得意とするオペラではこれまでにドニゼッティ「イル・カンパネロ」の日本初演などを指揮。また、NHKテレビへの出演やサイトウ・キネン・オーケストラのヨーロッパ公演に副指揮者として参加するなど、シンフォニー、オペラの両面で精力的な活動を続けている。

現在、京都市立芸術大学名誉教授、東京音楽大学指揮科主任教授、洗足学園音楽大学客員教授。

令和元年度「京都市芸術振興賞」受賞。

Freshman Wind Ensemble

洗足学園音楽大学フレッシュマン・ウインド・アンサンブル

フレッシュマン・ウインド・アンサンブルは、1年生のみで構成された、若さ溢れるウインド・アンサンブルである。爽快で物怖じしないパワフルな演奏が身上。吹奏楽の代表的なオリジナル作品から、アレンジ作品まで幅広いレパートリーに取り組み、合奏の基本や表現技術を習得すべく日々研鑽を積んでいる。これまでに客演指揮として汐澤安彦、山下一史、ヨハン・デ・メイ、ヤン・コベル、ロレンツォ・デラ・フォンテ等、国内外を代表する指揮者を招聘している。



Members

Concertmistress	高橋 美乃			
Flute	岡田 理奈	鎌仲 思実	下園 采奈	鈴木 ぴあ乃
	トラングエン バオチャン		中村 愛美	末永 愛翔
	村松 なごみ			
Oboe	入谷 栞	橋本 あみか	三輪 桃子*	
Clarinet	有田 春花	石山 穂乃花	宇佐美 碧	薄井 萌々子
	大竹 彩音	鈴木 潤	曾山 舞美	高橋 美乃
	松崎 稀菜	山口 真央	岩村 麻里子*	久高 友加梨*
	松永 唯*			
Bassoon	南齋 侑花*	吉田 南*		
Saxophone	阿部 友花	新井 琴乃	新井 楓花	石川 堅大
	伊藤 有莉愛	植木 里花	加藤 裕貴	金丸 璃奈
	川崎 俊裕	木佐木 桃花	北島 実幸	キュウ キ
	ギ キセン	熊木 萌奏	桑原 尚紀	駒田 雅乃
	近藤 空	泉波 陽美	高矢 真優	田所 恋結
	寺尾 作蔵	西田 大也	新田 乙葉	平野 未紗
	山岸 芽以	山田 倫子	吉川 佳希	吉田 朋諒
	Trumpet	秋山 凜音	稲田 菜摘	江浦 蓉蓉
小松 美羽		齊藤 雄太	清水 愛和	高橋 翔
野村 日菜乃		福山 桃花	星野 花織	正木 航
松尾 知樹		宮澤 恵美	森本 優生	吉井 絵理果
リン コウリャク		谷中彩乃★		
Horn	植田 香帆	高良 知里	山田 日香流	パン ジュンリャン
	井澤 滉一*	大塚 季*	増永梨花子*	
Trombone	石澤 百蘭	鵜飼 輝	遠藤 愛	川上 奏太郎
	神田 拓海	近藤 慶一	中田 夏葵	永野 宏弥
	本間 千尋	松田 真凜	水梨 翔太	森田 堅人

Members

Euphonium	荒木 優奈	関口 嬉架		
Tuba	金子 優也	櫻井 希有	佐藤 凧紗	鈴木 颯
	丸山 結希帆	南迫 奏太	峯永 岳志	
Contrabass	中田 梨花	福田 凧佐	城所 琳音*	
Harp	熊倉 実里*			
Percussion	相川 拓音	浅井 惇	石井 梨菜	内田 光太郎
	大島 一輝	岡崎 颯太	鏑木 舜裕	古仲 咲希
	竹内 夏美	田村 夢佑亜	土居 祥大	林 まど子
	廣瀬 歌菜	松田 陽大	松田 有平	宮下 真凜
	吉田 創	渡辺 歩紀		

*=演奏補助要員

企画運営責任者 瀬尾 宗利

バンドトレーナー 宍倉 晃

指導教員	秋田 孝訓	有馬 理絵	飯島 泉	石井 喜久子
	泉 真由	岩黒 綾乃	小川 佳津子	小倉 貞行
	小田桐 寛之	貝沼 拓実	笠原 勝二	勝俣 泰
	神代 修	小久保 まい	菅 貴登	田淵 哲也
	田村 真寛	次田 心平	當仲 絵理	中村 めぐみ
	中山 隆崇	林 辰則	本間 千也	前田 綾子
	松本 健司	目等 貴士		

助手

助川 有里紗

アカデミックコーディネーター

海野 匡代